

2020 年第 2 回 IEEE 東京支部理事会 議事録(案)

日 時：2020 年 6 月 3 日(水) 15:00～17:30

場 所：Web 会議

出席者：徳田 Chair、宇佐見 Vice Chair、滝嶋 Secretary、羽渕 Treasurer、
奥村 COC Chair、東盛 FNC Chair、中村 MDC Chair、種村 NC Chair、
川西 TPC Chair、稲森 SAC Chair、田中 PC Chair、鈴木 HC Chair、重松理事、
高野 LMAG Chair、吉田 YP Chair、笹瀬 Past Chair、杉江 Past Secretary、
眞田 Past Treasurer、野田 WIE Chair、西宮 SIGHT IEEE Tokyo Section Chair、
百武オブザーバ、梶川オブザーバ、事務局、セクレタリアシスタント、書記

議題：

1. 前回理事会議事録の確認【審議】 (資料 1)
2. Japan Council 理事会(2020 年第 1 回)報告 (資料 2)
3. 2020 年中間会計報告 (資料 3)
4. 2021-2022 年 IEEE 東京支部役員・理事候補の指名について【審議】 (資料 4)
5. 委員会活動報告
 - ・ Chapter Operations Committee (資料 5-1)
 - ・ Fellow Nominations Committee (資料 5-2)
 - ・ Membership Development Committee (資料 5-3)
 - ・ Technical Program Committee (資料 5-4)
 - ・ Publications Committee (資料 5-5)
 - ・ Student Activities Committee (資料 5-6)
 - ・ History Committee (資料 5-7)
6. Affinity Group 活動報告
 - ・ Life Members Affinity Group (資料 6-1)
 - ・ Young Professionals Affinity Group (資料 6-2)
7. その他
 - ・ JC WIE 報告 (資料 7-1)
 - ・ SIGHT 報告 (資料 7-2)
 - ・ TENCON2020 MOU 締結について【審議】 (資料 7-3)
 - ・ [参考]メール審議報告 (資料 7-4-1)
 - ・ [参考]Region10 からのメール連絡一覧 (資料 7-4-2)
 - ・ [参考]IEEE Fellow/Senior Member 国別/Region 別会員数について (資料 7-4-3)

議事：

0. Chairのご挨拶

Chairより開会の挨拶を頂いた。

1. 前回理事会議事録の確認【審議→承認】 (資料1)

Secretaryより、前回理事会議事録の確認があり、異議なく承認された。

2. Japan Council 理事会(2020年第1回)報告 (資料2)

Secretaryより、理事会議事録(案)に沿って、2019年の会計報告は当初赤字の予定が黒字になったこと、WIEの支部移行計画について確認されたこと、COC Chapter支援費についてJCでの扱いを支部移行にしようとしていること、SBLTWをオンラインで行うこと、Fellow/Senior Member/Award 増強のためのアンケートを実施し集計中であること、プロモーション用のTシャツやパンフレットを作成すること、若手育成のための意義ある活動を計画していること、HCより東京支部のMilestoneについて報告されたこと、JC予算でのイベント参加は会員対象に報告するため東京支部も同様に報告すること、MAW2020開催を広島支部が計画していることなどの報告があった。

3. 2020年中間会計報告 (資料3)

Treasurerより、中間会計報告があった。支出について、イベントは新型コロナウイルスの影響で実績が無い一方で、事務局費はWeb管理費などが月割りで発生している。イベントの実施形態変更に伴い、新たな費用やキャンセル費用が発生する等の場合には連絡を頂きたい。この機に、グッズや記念品の贈呈等を通じて会員のモチベーション向上につながる事業をできればと考えている。

Secretaryより、6月頃までに予定している事業について実施の有無や形態を再確認し、変更があれば予定変更や予算の修正をし、連絡して欲しいと依頼があった。

FNC Chairより、web会議への変更に当たり、会場のキャンセル費用を払っているかと質問があり、Treasurerより、費用発生の直前で判断しており、現時点ではキャンセル料は発生していないと回答があった。

4. 2021-2022年IEEE東京支部役員・理事候補の指名について【審議→承認】 (資料4)

NC Chairより、2021-2022年IEEE東京支部役員・理事候補の指名について説明があり、リストに指名のある方々について異議なく承認された。

5. 委員会活動報告

・ Chapter Operations Committee (資料5-1)

COC Chairより、活動報告があった。前回理事会以降、FCS1件、TCS1件を承認した。

TCS はオンライン開催に関する追加依頼の承認であった。Secretary より、Chapter と Section の連携強化について、東京支部は Chapter が多いため支部の中で Chapter をどのようにつなげていくのか、意見を頂きたいと依頼があった。

・ Fellow Nominations Committee (資料 5-2)

FNC Chair より、シニアメンバー昇格者の増加施策について説明がなされ、東京支部と関連の強い企業等組織を対象に、フェロー、シニア会員の申請促進について協力依頼があった。

Past Secretary より、フェロー認定に関してソサイエティからの評価が重要と聞いており、Chapter にも協力頂くのが良いと思う、と発言があった。Secretary より、対象予定企業のキーパーソンについて、理事会メンバからも紹介頂きたいと、と依頼があった。

・ Membership Development Committee (資料 5-3)

MD Chair より、活動報告があった。東京支部 MDC 会合を開催、その中でシニアメンバー申請手続き負担の低減や、シニアメンバー昇格数の数値目標について問題提起があったことが紹介された。また会員数維持施策の一環として、在籍年数バッジの配付を検討していることが報告された。

・ Technical Program Committee (資料 5-4)

TPC Chair より、活動報告があった。第 1 回講演会について、ウェブ開催に伴い高専学生など東京支部の範囲外からも参加希望があり、参加資格を特に求めていなかったため認めた。第 2 回講演会まで準備が進んでいる。予定通り 6 回開催予定だが、後半は他の会議の延期先のスケジュールが集中しており、実施が可能かやや不透明と思われる。新型コロナウイルス収束後もオンライン併催への希望が出てきそうに思う。

Secretary より、R10 からのインセンティブを活用して作成したノベルティを、今回から講演者に進呈、送付する予定と、発言があった。講演会の開催形態変更に伴う予算変更について、開催形態の方針が決まり次第に連絡して欲しい、予算有効活用のための参考にしたい、と依頼があった。

・ Publications Committee (資料 5-5)

PC Chair より、活動報告があった。IEEE Tokyo Bulletin 発行およびメルマガを発信、東京支部/Japan Council ホームページを更新、R10 Newsletter への募集案内と投稿を行った。今後もこれらの活動を継続する。R10 Newsletter では R10 より July 2020 Issue 「The Large Section of the Month Column」への寄稿依頼があり、これに応じている。

・ Student Activities Committee (資料 5-6)

SAC Chairより、現時点ではイベント等の活動はないことが報告された。IEEE TOWERSは会場を確保して行う開催は取りやめ、オンライン開催を検討している。JC SAC主体で企画を進めているSBLTWは6月4日にオンライン開催が予定されている。

・ History Committee (資料 5-7)

HC Chairより、活動報告があった。遺留指紋自動識別システム、商用 DSP μ PD7720 の開発・実用化、プッシュプル締結方式を採用したフィジカルコンタクト(PC)接続による光ファイバコネクタの3件のIEEEマイルストーン受賞が決定した。前者2件は合同で贈呈式を開催する。また、IEEEマイルストーン申請準備や他支部申請状況の説明があった。

6. Affinity Group 活動報告

・ Life Members Affinity Group (資料 6-1)

LMAG Chairより、活動報告があった。2020年LMAG総会とLMAG-Tokyo役員会の遠隔開催を実施したこと、LMAG-Tokyoニュースレターの発行は第1回講演会終了後を予定していること、IEEE LMAG Achievement Awardへの申請を行ったことが紹介された。今後、東京支部総会講演会やLMAG講演会などを予定しているが、新型コロナウイルスの影響を受けて一部予定は未定となっていると報告された。

・ Young Professionals Affinity Group (資料 6-2)

YP Chairより、活動報告があった。「第12回IEEEキャリアアップ・スキルアップに関するエッセイコンテスト」、「世界を変える！アイデア実装コンテスト！の作品募集」などの準備を進めている。「世界を変える！アイデア実装コンテスト！の作品募集」について賞状や景品調達のため新規予算の計上希望があった。

予備費の範囲内なので問題ないことが確認され、イベント開催の変更があれば連絡することとなった。

7. その他

・ JC WIE 報告 (資料 7-1)

JC WIE Chairより、活動報告があった。役員会議やWIE Online Gatheringを実施した。仙台WIE設立3周年記念イベントを4月から10月に延期した。JC WIE支部移行について、単独設立だけでなく、福岡・広島Joint WIE設立の可能性についても検討している。信越支部は東京支部とのジョイントでの設立を準備している。また、今年のイベントの実施時期等について再検討している。

Secretaryより、WIE支部移行について、新型コロナウイルスの影響はあるか、と質問があり、JC WIE Chairより、大学の先生方の授業形態が例年と変わっており少し遅れている、

落ち着きつつあるので状況確認したい、と回答があった。Chair より示唆があり、WIE Online Gathering を Tokyo Bulletin に掲載して、取り組みの紹介をすることとなった。

・ SIGHT 報告 (資料 7-2)

SIGHT IEEE Tokyo Section Chair より、SIGHT の 3つの活動プロジェクトタイプに基づいて SIGHT Tokyo の方針を検討していると報告があった。

活動プロジェクトタイプ「Technology related policy project」について、AI や自動運転、ドローンなどの運用ポリシー、新型コロナウイルス対策で人流把握のために取得した GPS 情報の扱いなど、社会の受容性と整合した技術が必要との意見があった。活動プロジェクトタイプ「Humanitarian technology development」に関して、地球物理学、気象学、地震学の分野への働きかけについて今後関係を広げていきたいので、関心のある方は参加をお願いしたいと依頼があった。

IEEE Online 教材をローカル言語化で提供するプロジェクト「R10 Online Education in Local Language Project」を推進していることについて紹介があった。コンテンツは Technical Society が保有する Lecture Video にローカル言語の字幕を加えたものと、Education Activity の webinar プラットフォームを活用しローカル言語で提供するものがある。

・ TENCON2020 MOU 締結について【審議→承認】 (資料 7-3)

IEEE Conference Application を approve することについて、異議なく承認された。Secretary より TENCON2020 準備状況の説明があった。論文締切りは 6 月中旬または 7 月上旬に延長予定で、11 月に現地開催あるいは online とのハイブリッド開催を実行委員会で検討している。

・ [参考]メール審議報告 (資料 7-4-1)

・ [参考]Region10 からのメール連絡一覧 (資料 7-4-2)

・ [参考]IEEE Fellow/Senior Member 国別/Region 別会員数について (資料 7-4-3)

[その他]

Past Chair より、IEEE ComSoc が主催する主な国際会議、例えば ICC や WCNC は学生であれば参加費無料で online 聴講できる。ComSoc の会員になる必要があるが、学生入会費は 50 セントであると紹介があった。

Chair より、行政や教育をはじめとする分野で、新型コロナウイルスのために ICT が後押しして脚光を浴びている、今後について議論するよい機会であると発言があった。

Secretary より、講演会の無料化等については TPC と協議して方向性を議論する、アイデアコンテストについては YP Chair に引き続きお願いしたいと依頼があった。

Secretaryより、2020年第3回東京支部理事会を、9月30日KDDI(株)（飯田橋）にて開催
予定であることが周知された。

以上